

平成21年7月28日

## 新横浜駅ホーム可動柵の取替について

新横浜駅2番線、3番線に設置のホーム可動柵は、昭和60年の設置以降、24年が経過し取替時期を迎えています。

今回、取替にあわせて、ホーム可動柵の安全機能の充実や、メンテナンス性の向上等を行うとともに、設置位置をホーム端部へ変更することで、ホームの有効面積を拡張し、お客様の利便性を高めてまいります。

### 1. 概要

- (1) 可動柵を現行より約1.7m線路寄りのホーム端部に設置し、ホームの有効面積を約3割拡張し、お客様にご利用頂きやすいホームになります。(→別紙)
- (2) 安全機能を充実させ、メンテナンス性にも優れた最新の可動柵に更新します。

(参考)

	現行	更新後	
ホーム端からの設置位置	2.4m	0.7m	1.7m拡幅
ホーム有効面積(一面)	2,200㎡	2,900㎡	約3割拡張

※11号車付近は当面現行位置とします。

### 2. 使用開始時期

- ・上りホーム(2番線): 平成22年3月
- ・下りホーム(3番線): 平成22年7月

### 3. 工事費

約11億円

# 新横浜駅可動柵取替概要

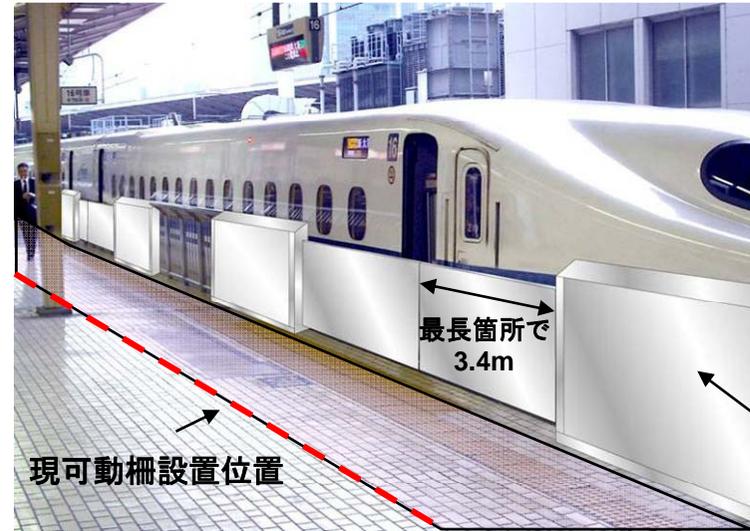
別紙1

## ○可動柵更新イメージ

現行

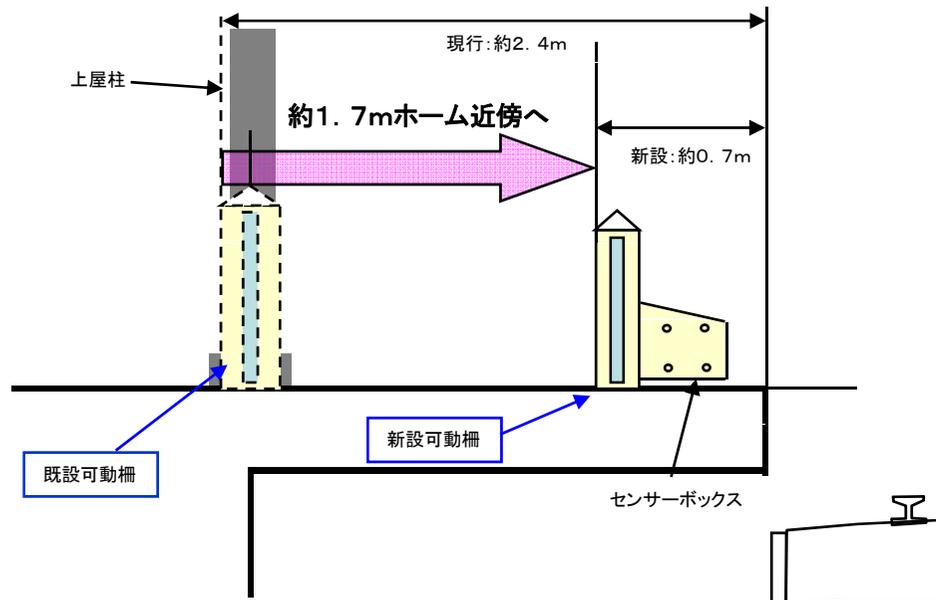


取替後



約1.7m  
ホーム幅拡大

## ○ホーム断面図

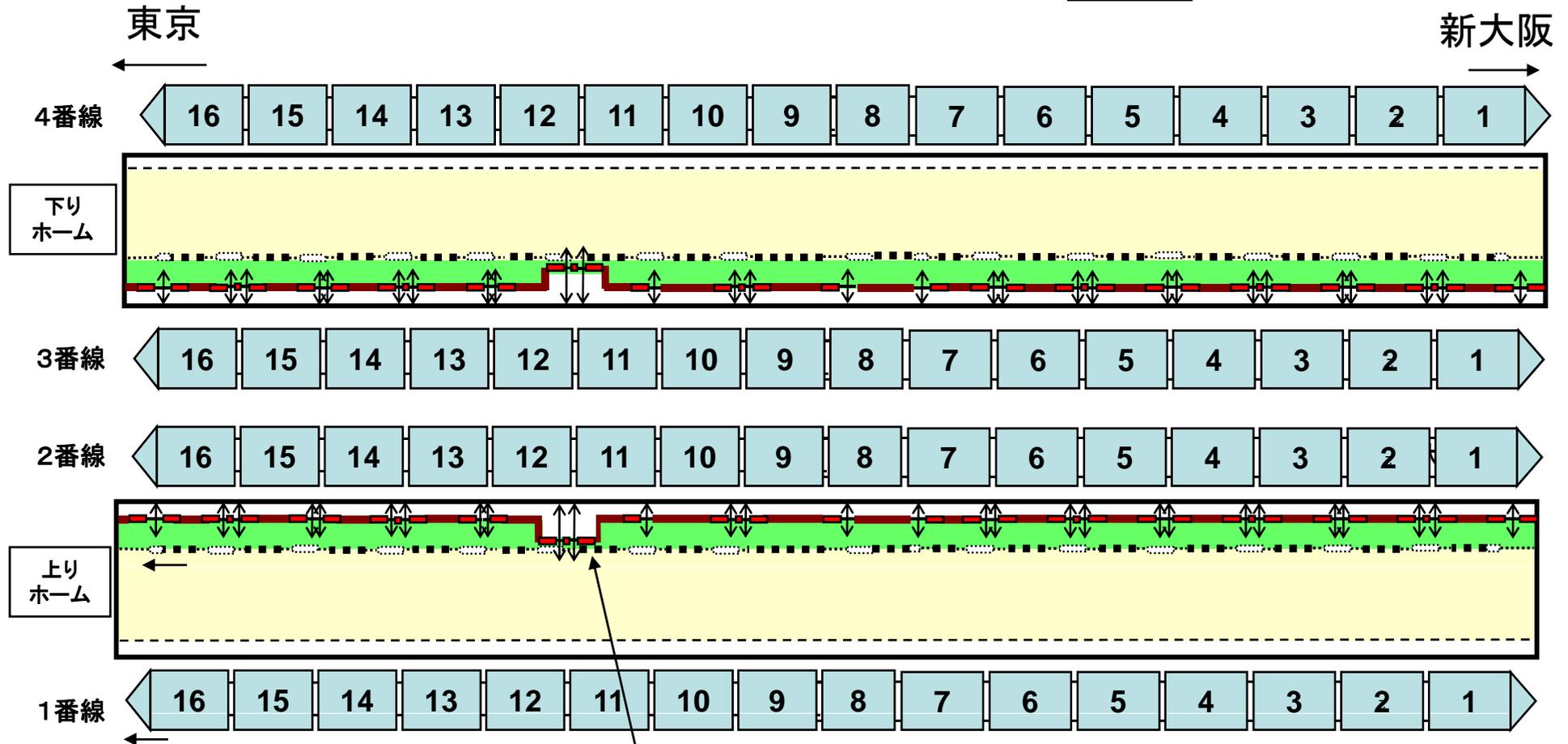


# 新横浜駅可動柵取替概要

別紙2

ホーム端に設置することで、  
ホームの有効面積を約3割拡張します。  
(1ホームあたり、 $2200\text{m}^2 \rightarrow 2900\text{m}^2$ )

- 現・可動柵
- ■ ■ ■ 新・可動柵
- 現・固定柵
- 現・ホーム面積
- ホーム面積拡大部分



※11号車付近は、扉位置が300系と700系・N700系で約3mずれているため、  
当面の間、セットバックし、お客様の乗降の妨げとならないようにします。